

- 問1 室町幕府の第3代将軍である足利義満が、京都の北山に別荘として建立した金閣（鹿苑寺）に代表される、公家文化と武家文化が融合したこの時代の文化の名称として最も適切なものを選びなさい。（2017年 山形県公立入試 類似）
1. 東山文化 2. 国風文化 3. 天平文化 4. 北山文化
-
- 問2 室町時代に土一揆が頻発するようになった社会的な背景について、当時の組織の在り方に触れた説明として正しいものはどれですか。（2025年 秋田県公立入試 類似）
1. 守護大名が領地を広げるために、農民を兵士として組織して幕府を倒そうとしたため 2. キリスト教の信仰のもとに農民が団結し、領主による宗教的な弾圧に抵抗したため 3. 農民たちが「惣」と呼ばれる自治組織を作り、村々が連携して要求を通す力を蓄えたため 4. 座と呼ばれる商人の組合が農民と協力し、特定の商品の独占販売権を幕府に認めさせたため
-
- 問3 14世紀末から15世紀にかけて、室町幕府の将軍である足利義満は中国の王朝である明と正式な国交を樹立しました。この貿易において、明側が「勘合」と呼ばれる証票の使用を日本側に求めた主な理由として、最も適切な説明を選びなさい。（2017年 長野県公立入試 類似）
1. キリスト教の布教を目的とする宣教師の入国を厳格に制限するため 2. 日本に派遣される明の使節が、幕府から十分なもてなしを受ける権利を証明するため 3. 正式な貿易船と、東アジアの沿岸部で活動していた海賊である倭寇を区別するため 4. 日本国内で産出される銀の総量を把握し、明への輸出を義務付けるため
-
- 問4 室町時代に足利義満が開始した日明貿易（勘合貿易）において、日本が中国（明）から輸入した品物の組み合わせとして最も適切なものを次の中から選びなさい。なお、当時の日本は国内で独自の貨幣を鋳造していなかったため、この貿易によって持ち込まれたものが国内の経済で広く流通しました。（2021年 京都府公立入試 類似）
1. 銅・硫黄・刀剣 2. 綿織物・鉄・鉄砲 3. 銅銭・生糸・書籍 4. 銀・ガラス製品・経典
-
- 問5 鎌倉幕府が滅亡した後の略年表において、鎌倉時代から室町時代へと移り変わる中間に位置する短期間に行われた、後醍醐天皇を中心とする天皇による直接の政治を何と呼びますか。（2022年 静岡県公立入試 類似）
1. 承久の乱 2. 建武の新政 3. 延元の乱 4. 観応の擾乱
-
- 問6 1428年（正長元年）、近江国の運送業者などが中心となり、幕府に対して借金の帳消しを求める「徳政」を求めて蜂起しました。当時の記録に「日本が開まって以来、初めての民衆による蜂起である」と記された、この歴史的な出来事を何といいますか。（2021年 神奈川県公立入試 類似）
1. 正長の土一揆 2. 加賀の一向一揆 3. 山城の国一揆 4. 島原・天草一揆
-
- 問7 明の皇帝が発行した文書において、周辺諸国の王が皇帝のもとを訪れ、日本からの貢ぎ物に対して皇帝が礼遇を与えるといった内容が含まれている貿易体制について、その特徴を説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2019年 静岡県公立入試 類似）
1. 日本が軍事を背景に相手国へ圧力をかけ、一方的に有利な条件を認めさせたものである。 2. 西洋諸国との間で結ばれた、関税自主権を欠くような不平等な国家間合意によるものである。 3. 幕府の許可を得ていない商人が、個人の利益を目的として自由に行った取引である。 4. 相手国の臣下としての形式をとることで、国家間の正式な外交関係として認められたものである。
-
- 問8 中世において、本州北端の津軽半島に位置する日本海側の拠点として、豪族の安藤氏のもとでアイヌの人々との交易や日本海交易の中継地として栄えた港町を何というか。（2021年 北海道公立入試 類似）
1. 十三湊 2. 平泉 3. 博多 4. 堺
-
- 問9 14世紀から15世紀頃の室町時代には、大陸との交流などを通じて新しい文化が生まれました。この時代の文化に関する記述として、最も適切なものはどれですか。（2019年 北海道公立入試 類似）
1. 伊能忠敬が、全国を測量して極めて正確な日本地図を作製した。 2. 雪舟が、明に渡って学んだ技法のもとに水墨画を大成させた。 3. 本居宣長が、日本の古典を研究して『古事記伝』を著した。 4. 紀貫之らが、最初の勅撰和歌集である『古今和歌集』をまとめた。
-
- 問10 室町時代から戦国時代にかけての歴史についてまとめられた資料において、加賀（現在の石川県）で「一向一揆」が発生し、信者たちが守護大名を倒して約100年間にわたる自治を実現したと説明されています。この一揆の母体となった、親鸞を宗祖とする仏教宗派を選びなさい。（2022年 神奈川県公立入試 類似）
1. 日蓮宗 2. 浄土宗 3. 真言宗 4. 浄土真宗
-
- 問11 1333年に足利尊氏や新田義貞らの協力を得て鎌倉幕府を滅ぼした後、後醍醐天皇が自ら中心となって始めた、天皇による新しい政治体制を何と呼びますか。（2021年 群馬県公立入試 類似）
1. 寛政の改革 2. 院政 3. 建武の新政 4. 摂関政治
-
- 問12 室町時代、農民たちが有力者を中心に「惣」と呼ばれる共同体を形成した際、村の運営に関する重要な意思決定を行うために開かれた会議を何と呼びますか。（2017年 岡山県公立入試 類似）
1. 寄合 2. 馬借 3. 問 4. 座
-
- 問13 室町時代、借金に苦しむ農民らが「土一揆」と呼ばれる集団行動を起こし、幕府に対して借金の帳消しを強く要求しました。当時の石碑には、それ以前の貸し借りを無効にするという趣旨の言葉が刻まれることもありましたが、このように幕府が債権者に対して貸借関係の破棄を命じた法令を何といいますか。（2016年 大阪府公立入試 類似）
1. 武家諸法度 2. 徳政令 3. 公事方御定書 4. 御成敗式目
-
- 問14 15世紀から16世紀にかけて、琉球王国は東アジアや東南アジアを結ぶ海上交通の要所として繁栄しました。この時期の琉球が行った、他国から輸入した産物を加工せずにそのまま別の国へ輸出することで利益を得る貿易形態を何といいますか。（2019年 広島県公立入試 類似）
1. 中継貿易 2. 朝貢貿易 3. 南蛮貿易 4. 勘合貿易
-
- 問15 15世紀後半、室町幕府の8代将軍である足利義政の跡継ぎ問題に加え、有力な守護大名である細川氏と山名氏の勢力争いが背景となって発生した、京都を主な舞台とする戦乱の名称として正しいものを選びなさい。（2018年 高知県公立入試 類似）
1. 壬申の乱 2. 承久の乱 3. 応仁の乱 4. 嘉吉の乱

答え合わせ・解説

問1	答え 4 北山文化	足利義満は南北朝の合一を成し遂げ、幕府の権力を確立しました。彼が京都の北山に建てた金閣は、一層が寝殿造（公家様式）、二・三層が禅宗様（武家様式）となっており、この時期の文化は北山文化と呼ばれます。これに対し、第8代将軍の足利義政が東山に建てた銀閣に代表される文化は東山文化です。
問2	答え 3 農民たちが「惣」と呼ばれる自治組織を作り、村々が連携して要求を通す力を蓄えたため	鎌倉時代から室町時代にかけて、農民は村ごとの自治組織である「惣」を形成しました。寄合を開いて村のルールを決めたり、用水の管理を行ったりすることで団結力が強まり、その組織力を背景に、領主への年貢の減免や幕府への徳政令の要求といった集団交渉（土一揆）が可能になりました。キリスト教による団結は後の島原・天草一揆などの特徴です。
問3	答え 3 正式な貿易船と、東アジアの沿岸部で活動していた海賊である倭寇を区別するため	足利義満は明の皇帝から「日本国王」として認められる形で冊封体制に入り、正式な朝貢貿易を開始しました。当時、東アジアの沿岸部では倭寇と呼ばれる海賊集団が活動して私的な密貿易や略奪を行っており、明はこれらを排除するために、半分に割った「勘合」を照らし合わせることで正式な貿易船であることを証明する仕組みを導入しました。
問4	答え 3 銅銭・生糸・書籍	室町時代、幕府は明から大量の銅銭（永楽通宝など）を輸入することで、国内の貨幣経済を発展させました。また、高級な衣服の原料となる生糸や、当時の知識層が求めた書籍も主要な輸入品でした。一方で、選択肢にある「銅・硫黄・刀剣」は日本から明へ送られた輸出品であり、「鉄砲」が伝来するのは戦国時代に入ってからのことです。
問5	答え 2 建武の新政	鎌倉幕府を倒した後醍醐天皇が、1333年から開始した天皇親政です。幕府や摂政・関白を置かず、天皇に権力を集中させる理想を掲げましたが、現実の社会情勢との乖離から武士の不満を招き、わずか数年で足利尊氏らによって崩壊させられました。
問6	答え 1 正長の土一揆	室町時代の1428年に起きたこの出来事は、近江国（現在の滋賀県）の馬借がきっかけとなり、京都市周辺の農民へと広がりました。民衆が組織的に「徳政（借金の帳消し）」を求めた日本で最初の大規模な土一揆として知られています。
問7	答え 4 相手国の臣下としての形式をとることで、国家間の正式な外交関係として認められたものである。	当時の中国（明）を中心とした国際社会では、周辺国の君主が中国の皇帝に貢ぎ物を捧げ、皇帝がそれを認めることで主従関係を結ぶ「朝貢」という形式が、正式な外交の条件となっていました。足利義満はこの形式を利用することで、民間による勝手な私貿易（海賊行為を含む）を排除し、幕府が独占的に利益を得られる体制を整えました。
問8	答え 1 十三湊	青森県の十三湖の河口付近に位置し、鎌倉時代から室町時代にかけて、蝦夷地（現在の北海道）との北方交易や、日本海沿岸を結ぶ海上輸送の要所として繁栄した。この地を拠点とした豪族の安藤氏（安東氏）は、強力な水軍を背景に交易を支配していた。
問9	答え 2 雪舟が、明に渡って学んだ技法をもとに水墨画を大成させた。	室町時代には、足利義満による日明貿易（勘合貿易）などを通じて中国（明）の文化が伝わりました。その中で雪舟は明に渡って絵画の技法を学び、日本独自の水墨画を大成させました。一方、伊能忠敬の地図作製と本居宣長の『古事記伝』は江戸時代の文化であり、紀貫之らによる『古今和歌集』は平安時代の国風文化における出来事です。
問10	答え 4 浄土真宗	鎌倉時代に親鸞が開いた浄土真宗（一向宗）は、阿彌陀如来を信じれば誰でも救われると説いたため、武士や農民の間に広く普及しました。加賀国（現在の石川県）では、この宗派の信者たちが「一向一揆」として強固に団結し、1488年に守護の富樫氏を倒して「百姓の持ちたる国」と呼ばれる約100年間の自治を実現しました。これは当時の封建的な支配を否定する画期的な出来事でした。
問11	答え 3 建武の新政	鎌倉幕府の滅亡後、後醍醐天皇はそれまでの幕府による政治を否定し、天皇が直接政治を行う理想を掲げました。この政治は元号にちなんで「建武の新政」と呼ばれますが、武士の期待に十分に応えられなかったため、短期間で崩壊することとなりました。
問12	答え 1 寄合	室町時代、近畿地方を中心に農民たちが自律的に組織した共同体が惣村です。この惣村の最高意思決定機関が「寄合」であり、ここでは村独自のルールである「掟（惣掟）」の制定、灌漑用水の管理、領主への年貢交渉などが話し合われました。「座」は商工業者の同業者組織であり、惣村の自治とは異なる概念です。
問13	答え 2 徳政令	室町時代には貨幣経済の浸透に伴い、多くの農民が借金に苦しむようになりました。これに対し、農民たちは「惣」と呼ばれる村の組織を背景に団結し、土一揆を起こして幕府に借金の帳消し（徳政）を求めました。幕府は社会の混乱を鎮めるためにこれを受け入れ、法令を颁布しました。選択肢にある御成敗式目は鎌倉時代、武家諸法度や公事方御定書は江戸時代の法令です。
問14	答え 1 中継貿易	琉球王国は自国の産物だけでなく、明（中国）から輸入した生糸や陶磁器を日本へ、日本から輸入した刀剣や銅を明や東南アジアへ、さらに東南アジアの香辛料を明や日本へ転売する役割を担いました。このように、他国間の取引を仲介する貿易を中継貿易と呼びます。当時、明が民間人の海外渡航を禁じていた「海禁」政策をとっていたことも、琉球が仲介役として活躍できた一因です。
問15	答え 3 応仁の乱	8代将軍足利義政の後継者を巡り、妻の日野富子らが推す足利義尚と、弟の足利視認が対立しました。これに幕府の有力者であった細川勝元（東軍）と山名宗全（西軍）の争いが結びつき、1467年から約11年にわたる大乱となりました。この戦乱により、室町幕府の権威は大きく失墜することとなりました。